



3年5か月をかけてリニューアル！

あらかわ遊園

平成30（2018）年12月から一時休園していたあらかわ遊園が、約30年ぶりの大規模改修を終え、令和4（2022）年4月にリニューアルオープンしました。幅広い年齢の方が楽しめるアミューズメントパークとして魅力的に生まれ変わったあらかわ遊園に、ぜひ遊びに来てください。

◆大正時代から地域で愛され続ける都内唯一の区立遊園地

開園は大正11（1922）年。戦後から区立の児童遊園に

あらかわ遊園は大正11（1922）年5月、煉瓦工場の経営者が工場の跡地に開園しました。誕生当時の案内には「東京に最も近き避暑地山水木石園内貳萬坪完備：風景絶佳有名なるあらか大瀧あり」等と記されています。

第二次世界大戦の影響で荒廃し閉園しましたが、戦後再建運動が展開され、昭和25（1950）年8月、荒川区立荒川遊園として開園しました。当時の区議会における設置条例案の提案説明には「荒川区民はもろん城北一帯の人々が利用できる、総合的な荒川区の名勝としての児童遊園地を作りたい」とあり、この思いは72年経った今も受け継がれています。区立の遊園地として開園以来、何度も増設やリニューアルを繰り返してきましたが、このたび3年5か月をかけた大規模改修工事を行い、昨年4月に待望のオープンとなりました。



幅広い年代の方が楽しめるアミューズメントパーク

あらかわ遊園のコンセプトは「小さなお子様から大人の方まで幅広い年代

い」とあり、この思いは72年経った今も受け継がれています。区立の遊園地として開園以来、何度も増設やリニューアルを繰り返してきましたが、このたび3年5か月をかけた大規模改修工事を行い、昨年4月に待望のオープンとなりました。

の方が楽しめるアミューズメントパークですが、今回のリニューアルではお子様はもちろん大人の方もより楽しめるという点にも重きを置きました。デートスポットとしてもご利用いただけるよう、イルミネーションを点灯する夜間開園日を設けたり、アルコールも提供する飲食スペースを3店舗展開するなどしています。

また車椅子やベビーカーで訪れた方の利便性を考慮し、建物内にはエレベーター、バリアフリートイレ、授乳室やおむつ交換台などを設置。園内のスロープを増やし、移動はすべてスロープを使ってできる形にしています。



あらかわ遊園へのアプローチ

(あらかわ遊園データ)
住所：荒川区西尾久6-35-11
TEL：03-3893-6003
開園時間：9時～17時（夜間開園日は20時まで、どうぶつ広場は10時～15時30分）
休園日：毎週火曜（火曜が祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月1日）。学校の春・夏・冬休み期間は無休（年末年始除く）
入園料：大人800円、65歳以上・中学生400円、小学生200円、未就学児無料
フリーパス料金：大人1800円、65歳以上1400円、中学生1000円、小学生700円、未就学児（3歳以上）500円、2歳以下無料
※詳細は「あらかわ遊園公式サイト」をご参照ください。

(交通)
交通：都電荒川線「荒川遊園地前」下車、徒歩3分
JR高崎線・東北本線「尾久駅」下車、徒歩12分



あらかわ遊園 公式サイト
あらかわ遊園 公式 Twitter



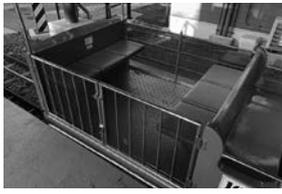
◆ バリアフリーに配慮した「のりもの広場」

3種のアトラクションは 車椅子のまま利用できる

のりもの広場には6種のアトラクションがありますが、そのうちの観覧車、メリーゴーランド、豆汽車は、車椅子のまま乗ることが出来ます。観覧車はゴンドラのサイズをリニューアル前より2まわりほど大きくしたので、車椅子がそのまま入ります。観覧車の動きを止めて、スロープを使って乗ることが出来ます。メリーゴーランドは馬車の形の乗り物の椅子部分が跳ね上がり、車椅子を固定できるようにしています。豆汽車は一番後ろの車両が車椅子用スペース。こちらもスロープを使って乗ることが出来ます。車椅子から降りずに乗れるアトラクションがある遊園地はまだ少ないので、利用された方からは喜んでいただいています。



馬車の椅子を跳ね上げて
車椅子を固定



一番後ろの車両に車椅子を固定

電動アシスト機能搭載で 誰でもラクラク運転

自転車型の乗り物のペダルを踏んで動かすスカイサイクル。リニューアル前は自力で漕ぐだけでしたが、リニューアル後は電動アシスト機能がついたので、漕ぐ力が弱い方でも安心してお乗りいただけます。ボタンを押すだけで進んでいくのでまったく漕がなくてもOKです。

夜間開園日にはアトラクションもライトアップ！

あらかわ遊園地では、週末（金～日曜）と祝日及び祝前日に開園時間を午後8時まで延長する夜間開園を実施しています。園内全体にイルミネーションが点灯され、アトラクションもライトアップ。レインボーに色を変える観覧車や電飾がキラキラ光るメリーゴーランドなど、昼間とは違った世界が広がります。



のりもの広場で楽しめる6つのアトラクション



ウォーターシューティングライド
リニューアル後新登場のアトラクションで、火災中のビルめがけて消防車から放水。高得点を目指します。3歳以上、身長制限なし。



観覧車
最高地点がリニューアル前の32mから40mに大型化しました。28個のゴンドラは7色あり、そのうちの4台がスケルトンでスリル満点。1周約9分。年齢・身長制限なし。



スカイサイクル
一番高いところで地上5mほど。1周228mを約3分で回れます。電動アシスト機能付き。3歳以上、付き添いなしの小学生は身長120cm以上。



メリーゴーランド
乗り物は馬のほか、パンダ、イルカ、恐竜、馬車があり、何度乗っても飽きない楽しさがあります。優雅な音楽に合わせて約2分間回転。年齢・身長制限なし。



ファミリーコースター
いも虫のキャラクターが人気の日本一遅いジェットコースター（自称）。1周約138mのコースを2周します。3歳以上、身長80cm以上。



豆汽車
シャープなフォルムの機関車がどうぶつ広場を巡る全長223mの線路を走ります。動物たちを眺めながら、1周約3分の汽車の旅が楽しめます。年齢・身長制限なし。

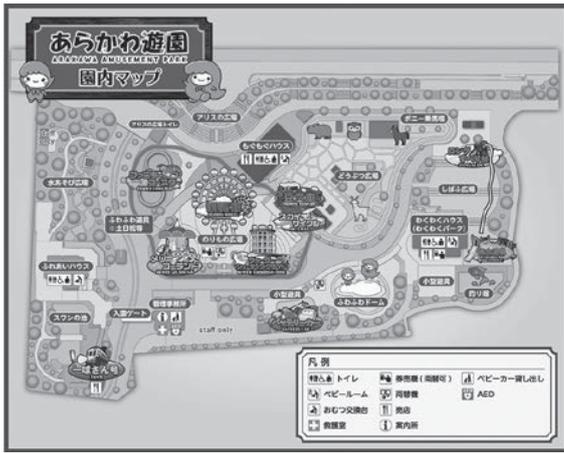
動物とのふれあいが魅力の「どうぶつ広場」

**ウサギ、ヤギ、ヒツジなど
動物たちとふれあい体験**

**フクロウ、ミミズクなどの
猛禽類が仲間入り**

どうぶつ広場にはウサギやモルモットなどの小動物、ヤギ、ヒツジ、アルパカ、カピバラ、カンガルー、ミーアキャット、ポニーなどの動物がいます。リニューアル前にもウサギとモルモットとはふれあうことができましたが、リニューアル後は仔ヤギ、仔ヒツジとも柵の中に入つてのふれあいや、餌やりができるようになりました。以前から人気のポニー乗馬も実施しています。

リニューアル後に新たに加わった施設に「フクロウの森」があります。ここではフクロウ、ミミズク、ハリスホークなどの猛禽類を展示しており、柵越しに一緒に写真を撮れるフォトスポットも設けています。(2023年2月現在、鳥インフルエンザ防止のため展示を休止中)



<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a038/yuuen/guide/index.html>

豆汽車

どうぶつ広場をぐるりと1周する人気のアトラクション、豆汽車に乗ってのんびり過ごす動物たちを眺めるのもおすすめです。



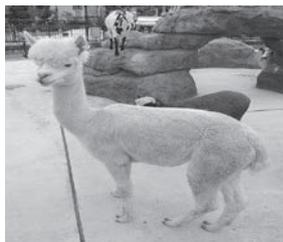
新設したフクロウの森



どうぶつ広場で出会える動物たち



カピバラ



アルパカ



ミーアキャット



ハリスホーク

ふれあい広場

仔ヤギや仔ヒツジに触ったり、餌やりができます。
餌代…のりもの券1枚または100円
利用時間…10時～11時30分、
13時～15時30分
※天候や動物の体調により中止する場合があります。

ふれあいコーナー

ウサギやモルモットをひざに乗せて、ふれあうことができます。
利用時間…10時～11時30分、
13時～15時30分
※20分ごとに10分の休憩があります。
※天候や動物の体調により中止する場合があります。
※団体のご利用は予約が必要です。

ポニー乗馬

体高の低い馬、ポニーに乗ることができます。
乗馬時間…1回目10時30分、
2回目13時30分、
3回目15時
利用料金…のりもの券1枚または100円
対象年齢…4歳～10歳
定員…平日は各回先着20名、土・日曜、祝日、春休み、夏休み期間は各回先着40名
※ゴールデンウイーク期間はお休みさせていただきます。
※天候や動物の体調により中止する場合があります。

子どもから大人まで楽しめる屋内外の遊び場や飲食施設も充実

0歳から12歳までが遊べる「わくわくパーク」

園内には、「わくわくハウス」「ふれあいハウス」「もぐもぐハウス」という3つの建物があります。いずれも2階建てでエレベーター付き。バリアフリートイレ、ベビールームやおむつ交換台などが設置され、乳幼児連れから高齢者、障がいのある方など、誰でも安心してご利用いただけます。

わくわくハウスの2階には、0歳から12歳までのお子様が遊べる「わくわくパーク」（室内遊び場）があり、1時間間の入れ替え制でままごと遊びやお絵描き、アスレチックやボルダリングなど、頭と体を使ったさまざまな遊びが楽しめます。雨の日の遊び場として、保護者の休憩場所としても好評です。



室内アスレチック遊具のりヴァーブリッジ



ボルダリング体験ができるスカイウォーク

鉄道模型を運転できる「下町都電ミニ」資料館



ふれあいハウス

ふれあいハウス1階は「下町都電ミニ資料館」。鉄道模型愛好家の方々の集まり「のぞみ会」会長の故・伊藤信男さん製作の都電模型や東京都交通局から提供された昔懐かしい都電関連品の数々を常設展示しています。以前から人気の鉄道模型運転場をリニューアルし、日曜日にはリアルに作られたジオラマの中をNゲージの電車模型を走らせることができます。ふれあいハウスの2階は多目的ルームになっており、講師を招いての陶芸教室、工作教室などのイベントを開催しています。

「ロング滑り台」と「ふわふわドーム」が新登場

あらかわ遊園には、ピクニックができるしばふ広場や自然の渓流のような水あそび広場など、公園のようにのんびり過ごせる屋外スペースがあります。しばふ広場には長さ約40mの無料遊具「ロング滑り台」を新設し、子どもたちに大人気。滑り台の近くには以前の釣り堀をリニューアルした「釣り堀（金魚の池）」もあります。



ロング滑り台

わくわくハウスの近くにはトランプリンのように跳ねて遊べるエア遊具「ふわふわドーム」を新設。3歳から12歳までが利用できる有料遊具で、飛び跳ねるだけでなく、この上で鬼ごっこをするなど、いろいろな遊び方ができます。



ふわふわドーム

3店舗ある飲食スペースでバラエティ豊かなメニューを

今回のリニューアルで大幅に改善したことの1つに、飲食スペースの充実があります。以前はレストランと売店が1か所ずつでしたが、現在はわくわくハウス1階の「コッペぱんクック（売店）」、建物全体がフードコートの「もぐもぐハウス」、旧都電車両を改装した「カフェ193（二球さん号）」の3店舗があり、食事やソフトドリンクのほか、ビールなどのアルコール類も提供しています。

あらかわ遊園のリニューアルオープンから1年。近隣の飲食店もリニューアルやニューオープンするなど、地域全体が活気づいています。区民の方にとって「わが街の遊園地」としての誇りを感じていただけるよう、さらに多くの方々に来園していただき感動体験を味わっていただけるよう、イルミネーションやイベント等の充実、ホスピタリティに溢れた運営に努めていきたいと思っています。



懐かしい都電車両のカフェで自家焙煎コーヒーやオリジナルスイーツを味わえる